

2020 年は、世界が新型コロナウイルスの流行の影響を受けました。WIE シンポジウムもその影響を受けたことには変わりなく、開催するのかどうか？また開催するとしてもどのような形態にするのかなど 4 月以降大いに悩むことになりました。役員会や実行委員会で検討を重ねた結果、当初予定していた通り 9 月 26 日(土)にオンラインにて「IEEE Kansai WIE シンポジウム 2020 – Enjoy Science, Technology and Your Life!」開催することと決まり、開催に至りました。Young Professionals (YP) AG, 大阪大学 StudentBranch, 兵庫県立大学 StudentBranch, 立命館大学 StudentBranch, 京都大学 StudentBranch, 関西大学 StudentBranch, 同志社大学 StudentBranch, 奈良先端科学技術大学院大学 StudentBranch の共催をいただき、特に広報に関して協力し準備を行いました。

シンポジウム前半では、3 名の女性技術者・研究者による以下の講演を行いました。

- 「IT の世界で一人の人間として働くということ」(株式会社万葉 鳥井 雪 氏)
- 「企業研究員 2 年目で振り返る文系から理系になった私のキャリア選択」(日本電信電話株式会社 中原 英里 氏)
- 「Young Women in STEM Career Development: A Thailand's Perspective and Experience」(Chulalongkorn University Supavadee Aramvith 氏)

シンポジウムの後半は、Zoom のブレイクアウトルームを活用して全員参加型のグループトークを実施しました。「科学とテクノロジーと人生を楽しむためのヒント」をテーマにグループごとに意見交換を行ったのち、各グループでの議論を参加者全体で共有しました。

シンポジウム参加者は、41 名でした。今回はオンライン開催としたこと、また IEEE でも活発に活躍されている Supavadee 先生にご講演いただいたこともあり、タイからの参加者や留学生の参加者など例年には見られない参加者層を得ることができました。オンラインでの開催で参加者数の現象が危惧されましたが、参加者数は昨年と同数でした。本シンポジウムは WIE AG の年間活動の軸となるイベントとして、開催形態がオンライン開催となることがあったとしても、「関西の」女性技術者・研究者、理系の女子大学院生・学部生、そして理系進路選択を考える女子高校生のエンパワメントを目的として継続していく予定です。



WIE シンポジウム 2020 参加者集合